



阿戸中だより

平成21年

6.1

広島市立阿戸中学校

自主・敬愛・責任

5月31日(日)9:00スタート! 阿戸小中合同運動会がいよいよ開催されます。

5 / 18の環境整備を皮切りに、小中で合同の練習を積み重ねてきました。もちろん中学校恒例の応援合戦、みんなでジャンプ、全員リレーの練習にも早くから取り掛かりました。朝練では長縄を跳び1時間目に少し疲れ気味、昼休みも体育館で練習し、2時からは全体練習、引き続いて5時半までの応援練習。太鼓の音と元気な声が職員室まで届いて幸せな気分にしてくれました。毎日本当によく頑張りました。縦割り班の活動を通して、小さなトラブルを一つ一つ解決しながら三年生が三年生らしく成長し、一年生が阿戸中の仲間になっていきます。阿戸中にはなくてはならない年度始めの行事です。

今年はそれにプラスして、小学校と合同というエッセンスまで含まれました。中1生よりもっと年少の子どもたちとの合同行事を通して、どんな学びが生まれてくるのか楽しみです。

それからもう一つ、阿戸町に2～300年続いているという「阿戸盆踊り」を子どもたちが全員で輪になって踊ります。こんなに大きな輪は阿戸中に来て始めて見ます。これも楽しみの一つです。

さあ、いよいよあさっては本番です。お天気の心配もないようです。お楽しみ下さい!!

情報

知っていましたか?

第1回の合同運動会だと思っていたら、実は26年前までは小中が合同でしていたのだそうです。その頃を知っている阿戸中OB・OGのお父さん・お母さん方、そして地域の方々には、懐かしい光景がよみがえります。



校長発信



「阿戸盆踊り」への思い

続けることができないなど、何らかの理由で一般に伝統行事は減っていく傾向にあります。しかし、今年5月31日に行われる阿戸小中合同の運動会では、「阿戸盆踊り」を小学生135

名、中学生82名の総計217名全員で行う小中合同演技に復活させました。児童生徒らが連日、盆踊りの稽古に取り組み、「地域の皆さんに阿戸町の伝統的な盆踊りを見せよう」と張り切ったのです。しかも、地元の保存会のご協力を得て、こうした阿戸町の伝統を復活させられるというのは、とてもよいものだと思います。踊ったこともすばらしい経験になるでしょうが、全校の児童生徒が伝統芸能を披露するという経験は、子どもたちの「阿戸っ子としての故郷を思う心」を

形成する意味でも大事なものとなるでしょう

赤組団長の決意表明

私は、赤組団長として、赤組全員をリードできるように、練習の時よりも大きな声を出して全員を率いたいと思います。

そして、私自身にとっては、今年最後の運動会なので、悔いの残らないように精一杯力を出したい 思います。

赤組団長 野口 真奈美



* 取り組みの
様子のビ

デオを当日昼食時に、体育館で放映します！

白組団長の決意表明

今年の運動会は初めての小中合同なので、動きが今までのものと少しずつ違ってきています。みんながとまどわないように、団長として責任を持ちしっかり引っ張っていきたいと思います。そして、盆踊りは保護者参加型なので、親子共々楽しく踊れたらなと思います。

白組団長 新庄 浩史



お知らせ

その1 6月18日(木)19日(金)に前期中間試験があります。

運動会の疲れが取れたら早速中間試験です。その前の9日には2年生の基礎・基本定着状況調査もあります。新学年での初めてのテストに意欲を持って臨もうと子どもたちは素直に思います。「うちは全然せんから」と決めつけてしまって、意欲をそぐ声かけをしてしまうのではなく、「頑張ってみよう」という気持ちを汲み取った声かけをお願いします。

その2 6月25日(木)11:45から出前コンサートがあります。

体育館で生の演奏を生徒全員が聴きます。昨年よりこういった機会が多くあり、子どもたちの琴線に少しずつ触れています。ソプラノ歌手が来た日には子どもたちの鼻歌がソプラノになっていました。目に見えたすぐの効果は現れないと思いますが、大事な積み重ねだと思えます。保護者・地域の方々も是非お越し下さい。

その3 6月23日(火)14:00～ 授業参観と学級懇談会があります。

運動会のビデオも流す予定です。授業で頑張っている子、運動会で頑張っている子、学校生活のひとこまで頑張っている子、いろんな頑張りがあります。ぜひ子どもたちの姿を見に来てやって下さい。

その4 「阿戸中新聞」が7月12日、中国新聞に掲載されます！

運動会が終わったら執行部の子どもたちを中心に動き始めます阿戸中OBの方、地域の方にも子どもたちが取材に伺います。よろしくをお願いします。子どもたちがどんな新聞を作るのか、楽しみにしておいて下さい！



編集後記

この2ヶ月間、町内や安芸区のPTAの会議に本当に多く出席させて頂きました。阿戸町がどんな人たちの、どんな努力で成り立っているのか、長年居ながら、やっと大枠がつかめた気がしています。そして阿戸町の方々の、阿戸町に対する熱い思いの中にすっぽり包まれて存在する学校を、阿戸町の方々と一緒に育てていかなければならないと再認識しました。

それにしても前田PTA会長様に全部の会議でお会いしました。お仕事+の役を中学校の子どもたちのためにお引き受け下さり、お忙しい中出席して下さいます。深く感謝致します。(藤本)

**中国新聞
にも、今朝
掲載されま
した！**